

8-4-12 ダム・発電専門委員会

1. 主な活動の記録

令和7年度は、下記に示すイベントの実施の他、協会WG活動、外部委員会等に参加した。

- ① ダム設計に関する技術勉強会
- ② 地質技術報告会（地質分科会）
- ③ 現地見学会（地質分科会）
- ④ 若手技術者の意見交換会
- ⑤ CMED 会との意見交換会
- ⑥ RCCM 自主学習教材改訂

(1) 委員会の開催

開催回数：9回。対面形式を基本として実施。

(2) 協会活動等への協力・支援

a) 照査特別 WG

エラー事例の収集と要因分析に基づく品質セミナーのテキスト作成に参加した。エラー事例は、設計編1事例および調査編1事例の合計2事例を提出した。

b) 水資源機構対外活動委員会 WG

水資源機構への要望に関するアンケートについて、専門委員会内各社が実施した業務について回答を集約し提出した。

c) 生産性向上 WG

令和7年度は委員2名が参加した。

(3) ダム設計に関する技術勉強会

技術レベルの向上および研鑽を目的としたダム設計に関する技術勉強会を開催した。

- ・開催日：令和7年12月2日（火）
- ・開催場所：八千代エンジニアリング(株)会議室＋Web ライブ配信
- ・講師：永山 功 氏（永山ダム技術啓蒙研究所、元・日本ダム協会技術顧問、元・土木研究所水工グループ長）
- ・テーマ：『法的安全性と科学的安全性—ダム技術者とは如何なる人か—』
- ・参加者：118名（公募）

(4) 地質技術報告会

ダム関連の地質・設計技術者を対象に、技術力の向上と交流を図ることを目的として、地質技術報告会を開催した。

- ・開催日：令和7年8月30日（土）
- ・開催場所：星稜会館大ホール＋ライブ配信
- ・テーマ：『地質と地下水』
- ・参加者：307名（公募）

(5) 現地見学会

ダムの建設現場において技術力向上の啓発を目的として現地見学会を開催した。

- ・開催日：令和7年10月7日（火）8日（水）
- ・見学場所：三笠ぼんべつダム（建設中）、他
- ・参加者：25名（公募）

(6) 若手技術者の意見交換会

プレゼンテーション能力・技術力向上を図ることを目的とし、担当した業務に関し、若手技術者5名による発表と意見交換及び有識者による特別講演を開催した。

- ・開催日：令和7年11月10日（月）
- ・開催場所：日本工営(株)会議室＋ライブ配信
- ・若手技術者の発表：5名、参加者：60名
- ・特別講演講師：一般財団法人ダム技術センター ダム技術研究所 所長 佐々木 隆 氏
- ・特別講演テーマ：『近年の日本のダムの地震時挙動／再開発ダムの地震解析』
- ・特別講演参加者：98名（協会員）

(7) CMED 会との意見交換会

ダム工事総括管理技術者会（CMED 会）との意見交換会を開催した。

- ・開催日：令和7年12月9日（火）
- ・開催場所：銀座ブロッサム＋ライブ配信
- ・テーマ：「働き方改革」「ダムの設計変更項目の後進ダムへのフィードバック」「ダム施工計画について」他

(8) RCCM 自主学習教材改訂

令和7年度版は時点更新を行った。

(9) 外部委員会

- ・河川砂防技術基準改定検討委員として参画、ダム再生の執筆協力などを行った。

2. 次年度活動について

次年度も「1. 主な活動の記録」に示した活動を継続的に実施する予定である。

（ダム・発電専門委員会委員長 大橋 広治）